

## プレス発表資料（お知らせ）

平成19年11月15日  
独立行政法人防災科学技術研究所

### 第2回地域防災力の向上を目指した災害リスク情報の活用と 地域コミュニティのあり方に関するシンポジウム 「災害リスクガバナンスで高める地域防災力」

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は「第2回 地域防災力の向上を目指した災害リスク情報の活用と地域コミュニティのあり方に関するシンポジウム」を開催いたします。

第2回となる今回は、中越地震、中越沖地震の二つの地震を経験しつつも、独自の活動により地域防災力を強化してきた柏崎市北条地区や、e コミュニティ・プラットフォームを通じて独自の防災活動を展開している島田市ならびにつくば市などからゲストをお迎えします。行政主導の自主防災組織ではなく、多様な主体による水平的協調に基づく、地域防災力向上のための新しいアプローチとしての「災害リスクガバナンス」の具体像と将来展望を明らかにすることを目的としています。

日時：平成19年12月7日（金）13:30～16:30（開場13:00）  
場所：東京国際フォーラム G701（東京都千代田区丸の内3丁目5-1）  
主催：独立行政法人 防災科学技術研究所  
参加費：無料  
参加方法：下記ホームページまたはFAXによりお申し込み下さい  
（定員100名・先着順）

<http://risk.bosai.go.jp/risk/> FAX 029-863-7541

プログラム：別紙および上記ホームページの通り  
本件配布先： 文部科学記者会、科学記者会、つくば研究学園都市記者会

#### 【内容に関する問い合わせ先】

独立行政法人防災科学技術研究所  
防災システム研究センター  
長坂、永松、白田、増田  
TEL: 029-863-7553  
FAX: 029-863-7541

#### （連絡先）

独立行政法人防災科学技術研究所  
企画部広報普及課成果普及係  
佐竹、山科  
TEL: 029-863-7783  
FAX: 029-851-1622

## 第 2 回地域防災力の向上を目指した災害リスク情報の活用と

### 地域コミュニティのあり方に関するシンポジウム

#### 「災害リスクガバナンスで高める地域防災力」

地震、火山、洪水、土砂災害、雪氷災害等、不確実性を孕む災害リスクに立ち向かうためには、防災機関を中心とする防災対策のみならず、個人や地域コミュニティを含めた災害に強い社会づくりが不可欠と考えられます。そのためには、災害に関する様々な専門知に加え、社会の多様な主体がそれぞれに持つ経験知・地域知を共有・活用し、災害リスクの軽減や共存にむけて対話と協働を促進する必要があります。

防災科学技術研究所では、災害に強い社会をこのように捉えた上で、これを実現する社会技術や制度・システムを「災害リスクガバナンス」と定義し、その開発に取り組んでいます。本シンポジウムでは、2006 年度から新たに発足した「災害リスクガバナンス研究プロジェクト」において取り組んでいる各地の社会実験や災害調査から、災害リスクガバナンスの具体的な実践事例を報告するとともに、災害に強い社会の構築に向けた課題と今後の展望について議論したいと思います。

防災関連の行政や研究者のみならず、よりよい地域づくりを目指す様々な個人や団体、ネットワークの方々の参加を歓迎いたします。

主催 独立行政法人防災科学技術研究所

日時 12月7日(金) 13:30~16:30(開場13:00)

場所 東京国際フォーラム G701 (東京都千代田区丸の内3丁目5-1)

参加費 無料

#### プログラム

13:30-13:50	災害リスクガバナンスが指すもの 長坂俊成(独立行政法人防災科学技術研究所 災害リスクガバナンスプロジェクト ディレクター)
13:50-14:20	災害に関する専門知・経験知・地域知(災害リスク情報)を融合・活用した災害に強い社会づくり 白田裕一郎 防災科学技術研究所 リスク情報研究チーム チームリーダー
14:20-14:50	社会ネットワークと協働に基づく地域防災の実践 永松伸吾 防災科学技術研究所 リスク政策研究チーム チームリーダー

14:50-15:00	休憩
15:00-16:30	<p>パネルディスカッション「地域の多様な主体と連携した包括的な地域運営と地域防災力」</p> <p><b>司会</b> 永松伸吾（独立行政法人防災科学技術研究所）</p> <p><b>パネリスト</b></p> <p>江尻東磨（柏崎市北条地区コミュニティ振興協議会会長）</p> <p>2004年中越地震後に、コミュニティの様々な組織を巻き込んだ防災訓練を実施し、それが2007年中越沖地震で威力を発揮したことで有名な北条地区のリーダー。防災だけでなく、人材バンクや総菜屋などのコミュニティビジネスによる地域課題の解決にも取り組む。</p> <p>河原井猛（つくば市社会福祉協議会）</p> <p>つくば市における要援護者対策や災害ボランティアコーディネートの仕組みの構築に向けて様々な試みを実施。ネット上で地域コミュニティの活動を補完・促進するために導入された「e-コミュニティつくば」を通じた様々な市民組織との協働によるボランティアセンター開設や、住民組織との協働による安否確認および避難所開設訓練の実施などに取り組んでいる</p> <p>南條隆彦（島田市情報政策課）</p> <p>行政の情報政策の立場から、e コミュニティプラットフォームを活用し、地域コミュニティや市民グループ等をネットワークすることや、行政施策を横断的に統合することによって地域社会や公民の協働を促進し、新たな知識を生み出すことで地域の課題解決力を高めるといった「地域プロデュース」の実践に取り組む。</p> <p>長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所）</p> <p><b>コメンテーター</b> 池田三郎（筑波大学名誉教授、防災科学技術研究所客員研究員）</p>